

Platform - 実際サミット

アブラハムのしたことの中でとても重要なことがありました。井戸をたくさん掘ったということでした。どうして井戸をたくさん掘ったのでしょうか。井戸を掘ることによってそちらに人々が集まるからです。それを指して、Platform だと言います。パウロはどうしてこちらの方角に行ったのでしょうか。使徒 17:1、会堂です。重要な人物、プリスキラとアクラに会ったときにも 18 章のように会堂に入りました。また、使徒 18:4、ローマに行く前に会堂に入ったのです。人々が集まる場所があります。熱心にやることも重要なのですが、人々が集まれる Platform が必要です。実際にその場所で、実際的なサミットを作り出していきます。この内容はとても重要な内容です。人々は、実は自分たちも知らないうちに川沿いの方に住んでいくのです。そうすると、誰がそこを開拓していくかによって、すべてが変わっていきます。川のこちら側からあちら側へ渡る橋を誰が作るかによって、すべてが変わります。私がどうしてこの話をするのでしょうか。ほんとうの Platform はレムナントです。これを知らなければなりません。ですから、パウロが会堂の方に目標を置いたのです。パウロが伝道したのを昨日の内容で見ますと、使徒 13、16、19 の方に入っていました。宣教師として派遣されてすぐにこのシャーマンの人たちのところに行って、悪霊にとりつかれている人をいやしていったのです。マケドニアに行ってすぐに悪霊にとりつかれていた人を追い出していく御働きをしました。そして、ツラノに行っては多くの病んでいる人、偶像崇拜をしている人たちをいやして行きました。これがパウロの伝道です。でも、パウロの本心の中では会堂に行こうという思いがあったのです。そして、ローマに目標を置きました。こちらがパウロの伝道の旅程です。これをよく見ることによって、たくさんの答えを確認することができます。いま日本人でありながら韓国に来て勉強されている学生たちが 15 人います。その中で佐土原先生やはじめ先生もほんとうに韓国語が上手です。特に佐土原先生は、韓国語で韓国人に教えるくらいの方です。はじめ伝道師もこれから牧師になられると思いますが、非常に韓国語が上手です。このような機会を逃すことなく、日本にいる神学生と韓国に来ている神学生と一緒にジョインさせなければなりません。そして、本格的に日本のレムナントたちとともにキャンプを行うべきだと思っています。なぜなら、一番良い条件を日本が持っているからです。また、レムナントたちを一番よく育ててくださったところがこの日本の宣教師の先生方です。そして、日本から韓国にいらっしゃっている日本人のレムナントたちは、ほんとうにすばらしい方々です。私が見るには、最高の機会だと思っています。伝道運動をしていく中で、この日本に一番すばらしいレムナントや指導者たちがいると思います。いまどの国にもこのような人物の方々は生まれていません。もちろん近くに台湾、フィリピンもあります。シンガポール、中国、近くにたくさんの国があります。しかし、日本ほどすばらしい人物の方々が起こされているところはありません。ということは、日本にいらっしゃる牧師先生や宣教師の方々がほんとうに良き働きをしてくださったという証拠です。いま絶好のチャンスを迎えています。また、日本で勉強されて、韓国に帰国されている方々もいらっしゃいます。こういう方々をすべて合わせて本格的なレムナントのためのキャンプが必要です。他のことを言いながらも、いやしが目的です。表向きには〇〇スクールだとか未来学校だとか名前はいろいろですが、実際的にはいやしをしていくのです。そこで日本のレムナントの方々が起きて、ローマの福音化をしていただきたいと思います。実際、アメリカの方でも一番認めている国が日本です。これは肉体的なことではなく、霊的に見るときにもとても重要な意味が含まれていると思います。では、どうしてレムナントを育てるべきなのでしょう。いま 3 団体の方ですべてを奪っています。3 団体によってすべてが奪われてしまったので、霊的問題は来るしかありません。3 団体はすべてすばらしいところはあるのですが、霊的問題は分かりません。そして、この 3 つの団体はアメリカ全部を掌握してしまいました。

序論 - 3 団体（霊的問題）

レムナントがどうして重要なのでしょうか。世界 2 万大学の中で 5 千個はアメリカにあります。それだけの大国に大学があるわけですから、韓国人も日本人もアメリカの大学に行くわけです。教会が黙っているところに 3 団体が攻撃しました。しかし、いくら 3 団体がやるとしても霊的問題は解決することができません。これが今日の世界中の状況です。アメリカにすべての人材が奪われると思ったので、ヨーロッパは別の作戦を狙ってきました。あるときはヨーロッパに来る留学生に対して学費を一切もらいませんでした。何の話かと言うと、アメリカに行かずヨーロッパに来て欲しいということです。このようにレムナントの戦争が起きています。このような機会を逃すということは、ほんとうに過ちを犯すこと

になります。これからは私のあなたの教会関係なしに、レムナントを生かす本格的なキャンプをしていただきたいと思います。本来の聖書にある祝福を3団体がすべて奪ってしまいました。

1. このレバレッジを使いまして、すべてのものを奪ってしまったのです。
2. すべての人材を奪ったということになります。彼らはどのような器と内容をもってやっていたのでしょうか。普通の問題ではありません。人材を奪い取ってはそこで神憑りにさせる、つまり、人を悪霊にとりつかせ憑依状態にさせます。これが3団体がやっていることです。悪霊に乗り移らせるようなことをさせているのです。世界中これらによって悪霊の作品だらけになっています。彼らによって映画も制作されています。音楽も作られています。大学にも入っていきます。人材を探し出しては、彼らに奨学金を渡しています。日本と韓国では、奨学金をもらうためには申請しなければなりません。彼らは申請ではなく、自分たちの方から行って渡します。このような差があるのです。韓国では、奨学金を申請されたとしても、そこでも与えるか与えないかで迷ってしまいます。彼らは黙っていても人材のところに行って、自分たちから渡しています。ですから、学校側はとても良いと思っています。それでいて中にいる人材はすべて奪い取っていきます。
3. トランスミッション - このように彼らは文化を通してトランスミッションを行っていきます。人々を文化を通して完全に変わらせてしまっているということです。この影響力は韓国にも日本にも波及されてきています。この背後では、すべてサタンがこれらを掌握しています。だから、世界中に精神病患者が増えています。何の対策案もありません。日本の子どもたちを早く集めて、ドリームキャンプをしていくべきだと思っています。ドリームキャンプとはとても良い言葉です。それをしながら中身はいやしをしていくのです。子どものときにいよしをさせませんと大変なことになるからです。おそらく皆さんも確認できると思います。日本人の中に、特に精神的に患っている方が非常に多いです。どうしてかと言いますと、子どもの時に放置していたからです。教会はありませんし、教会があっても福音がありませんでした。ただ宗教生活をただけです。人々をいよししていかなければならないのに、教会は宗教生活をしました。こういう立場から見ると、日本にいる神学生、韓国に来ている神学生がとても重要です。日本と韓国はとても近いのですから、手を取り合ってレムナントたちにキャンプを継続的に集中していくことです。ドリームキャンプということになると、未信者も招待できるような形になります。それでいていよしをしていきます。これがすべて奪われました。
4. ノーバディ - そして、彼らはノーバディの方向に攻略しています。これからの時代はノーバディ、誰が行けるかがすべての鍵を握ることになります。そして、彼らは完全なる作品を作り出しています。本当にあきれるくらいのことです。世界中の教会は、まったくこれと関わりのないことをやっています。世界中の教会の重職者は、未信者以下の状態をいまも維持しています。私はこの状態を見て、教会に行ってもまったく別の話をする必要はないと思っています。教会に行っても試みに会うなんて、まったくとんでもないことだと思っています。そうする中で、子どもたちが皆死にいく状態です。これを始めなければなりません。15人の神学生の方々は、日本の方向に目を向けていただきたいと思います。そして、日本の中にいる神学生が手を合わせて、いま言った Platform の中に入ってください。こうすることによって、実はその親たちも生かせるようになります。子どもを活かそうと思ったら、その親も生かせるようになります。
5. こういう流れ中、全世界の人々を集めることのできる Platform を作っています。つまり、人々が集まるしかない中心を作っているということです。中心、センターになります。このような Platform のセンターをずっと作り出しています。これをしながら、すべてのお金もかき集めていきます。人材だけではなく、すべての経済をも掌握していきます。一つの例を上げてみたいと思います。ビル・ゲイツは、どれぐらい多くの人々を動かしているのでしょうか。ニューエイジのメンバーとして有名な方です。また、亡くなられたスティーブ・ジョブズは、フリーメイソンのメンバーでした。ビル・ゲイツは人材を作り出したところに42兆ウォンを寄付したということです。42兆ウォンといっても皆さんには数え切れないお金でしょう。でも、それを投資して後に19兆ウォンを儲けたということです。作品を作り、Platformを作り、すべての人材に神憑りのようなことまでさせています。ましてや、あるミュージシャンは、音楽を専攻された方ではありませんが、悪霊に取り憑かれて、その勢いで音楽を作っています。その音楽が世界中でヒットされているわけです。そして、世界中の青少年の心を一気にゲットしてしまっています。たくさんの方が集まって演奏したりコンサートもしたりしています。ある映像を見ますと、5分間の中で何人かが一気に倒れて運ばれていきました。コンサートで人々がたくさんいますから、到底連れ出せないので担架に乗せて5分以内に何人も運び出されていました。歌手と一緒に歌を歌い、あまりにもそこにはまりすぎて精神的に倒れてしまったのです。このような状況です。一つのセンターに集める

だけではなく、世界中の方に送り出す、発信させることをしていきます。

6. アウトソーシング - それがアウトソーシングです。どのようにしたのでしょうか。世界中を見て入っていくシステムです。これらを見ると、完全に教会は負けている状態です。話にならないことです。アメリカ教会は門を閉ざしているのですが、この人たちは彼らの内容をもって世界を掌握しています。私が 237 の訓練をするということは、この失った 6 つの内容を探していこうということです。私たちレムナントであるならば可能だと思っています。皆さんもぜひ祈っていただきたいと思います。

本論

1. レムナント運動を正しく

私たちは、レムナント運動を正しくしていかなければなりません。そうすると終わりです。

1) Remnant

では、レムナント運動と言った時、まずレムナントが何であるか知らなければなりません。レムナントを一つの木に例えました。木には根があります。どんなに切り倒してもそこには根があります。この根がこの部分がキリストであり、福音を指しています。敵が来てどんなに木を切り倒したとしても切り株は残ると言われています。この切り株を指して、残りの者と言っています。この切り株から新しい芽が吹いてきます。この新しい芽を指して、残る者と言います。この新しい芽から木になっていきます。これを指して、これから残れる者と言います。そして、大きな森、森林を成し遂げていきます。これを指して、残す者と言っています。これをレムナントと言います。どんなに切り倒されても根は残っています。そして、その土の上に切り株があるわけです。そこから新しい芽が吹いてきます。これが木になって後には大きな大木、森になっていきます。このように聖書は例えられています。

2) RUTC

ですから、すべてのレムナントを立ち起こしていかなければなりません。そこで With、インマヌエル、ワンネスを教えなければなりません。それがユニティです。そして、彼らは集中的に生かしていかなければなりません。それがトレーニングです。全地域に Platform を敷くこと。それがセンターになります。これが RUTC です。レムナントたちが勉強していること自体が RUTC になります。では、このレムナントたちがどうしたら答えを掴むことができるのでしょうか。

3) CVDIP

まず C の契約の部分の確かにしていくことです。これが Covenant です。そして、次は絶対的なものを握ること。それが Vision です。そして、24 時になれるものを掴むこと。それが Dream です。神様のみことばの成就に従っていくこと。それが Image となります。そうすると、237 カ国を生かせるようになります。こちらが CVDIP になっていきます。こちらをレムナントたちに教えてあげなければなりません。レムナントが福音とキリストが何であるか分かるならば、すぐさま生かされていくようになります。日本全地域でレムナントが起きて、彼らが訓練を受け、そして、日本全国、世界を生かせるようにしていくこと。聖書はこの運動をしたときだけ答えられました。こちらで起きた運動を指して、荒野の運動だとも言っています。この RUTC で起きた運動をミツパ運動だとも言います。この RUTC で起きた運動をドタンの町運動だとも言います。こちらで起きた運動を会堂運動だとも言います。そこでレムナントは、CVDIP だけを確実に握ることで答えられます。これはチャンスです。宣教師や牧師先生方の大変なご苦労によって、ほんとうにすばらしいレムナントが起こされました。また、重職者の方々の献身によって、次世代たちが起こされています。いまが絶好のチャンスで大きな機会が来ました。たくさんのすばらしい畑が待っています。そこで Platform をどう作るかがポイントです。例えば、駅がなければどうなるのでしょうか。どこでも私たちが電車に乗れるのでしょうか。空港がなければどうなりますか。飛行機にどこでもかしこ乗れるのでしょうか。違います。すべては Platform です。これを日本でいかに見つけていくのか、そこがキーポイントになります。私は 237 という Platform を見つけました。この 6 つの内容をやるために見つけたのです。こちらにいろいろなことが起きるのですが、一番大きなものが Platform です。どうしてなのでしょう。

2. レムナントのいやし

これをやるために早くレムナントをいやしていかなければなりません。病んでいるのでしょうか。違います。皆がいやしの対象です。人間は生まれてすぐに創世記 3 章の中に入っていくために、いやしの対象です。では、何をいやすのでしょうか。

1) レムナントは祈ることもできないほど荒廃しています。そうでしょう。レムナントが契約を握って祈れることができるならば、世界を動かせるようになります。レムナントが福音を正しく知り、祈るこ

とができるならばどうなるのでしょうか。日本を生かすことができます。その祈りの力で荒廃状態をいやせるならば、すべてを連れて行くことができます。とうとう世の中に流れるものではなく、世の中を引っ張っていけるようなものになります。宣教師の皆さんは、この団体がどういう団体か知らなければなりません。こちらにいらっしゃる先生方の他に福音をまともに伝えている方々はほとんどいらっしゃいません。これが終わったらまた休んで講義を続けたいと思いますが、器さえ壊せば偉大なる働きが体験できます。

2) 世界観

では、こちらのレムナントたちに重要な世界観を教えてあげなければなりません。この世界観は複雑ではいけません。2つのことを明確に教えるべきです。イエス様は何を教えられたのでしょうか。神の国について教えました。そして、サタンの国を教えました。この2つの戦いです。未信者はよく分からない内容です。皆さんがこの2つの国を知ること、必ず御働きが起きます。どれほど重要だったのでしょうか。イエス様は40日の間これを教えられました。40日間、神の国のことについて語られました。お分かりでしょうか。皆さんが行かれるところに契約さえ握っていけば、神の国が臨まれます。心配はないので、これをほんとうにやっていくことです。どんなに私たちがまめに動いたとしても、それが偽りごとであるなら意味がありません。とても重要な2つの国です。これが分かることによって重要な働きが起きていきます。みことばが成就されていきます。そうでしょう。こうなったときに祈りの答えが起きていきます。そして、聖霊の御働きが起きるようになります。

3) これらを三位一体の神の御働きだと言います。

これだけではありません。皆さんの背景は天国になります。死んで天国に行くのではなく、この世に生きて神の国を成し遂げ、そして、天国に引っ越すということです。また聖書は、反対のところ、地獄を話しています。人を生かす理由は、死んで地獄に行くわけではありません。生きる限り地獄の背景で地獄のような人生を生きて地獄に行くわけですから、生かさなければなりません。どういう意味か分かるでしょうか。すごく、すごく重要な話です。でも、間違った教え方をしています。この世でこんなに苦労してもイエス様を信じるといつ死んでも天国に行きますよと教えています。それも一理あるかもしれませんが、間違っていることです。この世にあって生きる限り、天国の御国の背景を味わって、天国に引っ越すわけです。どんなに豊かに生きても地獄の背景のもとに未信者は生きています。天国の背景という意味は、祈るたびに御使いが遣わされ、みことばが成就されていくということです。地獄の背景にいる人は、サタンに囚われ死ぬほど苦しんでいきます。いま言っている内容はとても重要なお話です。だから、レムナントをすみやかに生かしていかなければなりません。そして、彼らを実際的なサミットにならせるべきです。これです。いまは本当にすばらしい機会が来ています。日本自体が非常に発展した国です。日本は世界どこに行っても通じる国です。それでいてただただ福音だけを伝える、キリストを伝える宣教師や牧師先生方がいらっしゃいます。ましてや、こちらにレムナントの方々が起こされています。そこで実力のあるレムナントは、皆さん神学校に行ってください。それでこの日本の地を生かすべきです。私はほんとうにびっくりしました。日本人が韓国で暮らそうとしたら、すごく条件がよくありません。日本はとても便利な国ではありませんか。だから、他の国々に行くと、非常に不便だということを感じるはずですが。日本がどれぐらい便利な国なのか。うどん屋さんに行きますと、れんげが汁の中に落ちてしまわないように引っかかるようになっています。ゴルフ場に行きますと、ベンチには帽子を置けるものもあります。このように考えてものづくりをしている便利な国です。そんな中で日本のレムナントが韓国に来て、最も良くない環境の中で暮らしています。しかし、一切、不便、不平不満を言わず訓練を受けています。内心はどうせいつかはあきらめるのではと思ったりもしました。なぜなら、他の国の人は途中で帰ってしまいました。でも、最後の最後まで残って伝道運動をしている国は日本人の方々だけです。私はそれだけを見てもいろいろなことを考えさせられました。なるほど。神様はほんとうに重要な働きを日本の地で行うためにその備えをされているのだなと。他のことは通じないとしても、福音運動は日韓で通じると信じています。政治家はいつも戦います。安倍総理、ムン・ジェイン大統領、いろいろ戦いは激しいのですが、でも、福音は通じます。私たちはそういうことをする必要はありません。私たちは日韓で手をつなぎ世界福音化をしていきましょう。日本人が持っている良い部分、韓国人が持っている良い部分を合わせると、まともな伝道運動が起きると思います。韓国人はとにかくせっかちで焦り型が多いです。でも、日本の方は慎重なタイプです。これが合わされるとどうなるのでしょうか。韓国の人とにかく早く、早く進みます。日本の方はゆっくりと落ち着いていきます。これが合わさってバランスが取れます。そして、世界福音化ができるようになります。そういう意味で、このような集い、皆さんはとても大切な方々です。レムナントをいやしていかなければなりません。皆さん以外には、これを治せる方々がいらっしゃいません。どうしてなのでしょう。

3. レムナントをサミットとして召された

レムナントをサミットにさせなければなりません。どちらに行っても構いません。

1) どこに行っても With を教えることです。そうすると、サミットになります。主がヨセフとともにおられたので。主は私の羊飼い。私はなにも乏しいことはありません。そして、Immanuel を教えたのです。そして、Oneness を教えました。すべての事柄が益となる、その Oneness です。皆さんには難しいことだなど見えるかもしれませんが、それが神の計画です。神様は変わりません。このようなサミットとして作り上げていきます。そして、次です。

2) 62 の中でいちばん重要なキリスト、神の国、ただ聖霊が出てくる答えがあります。ただ、唯一、再創造を教えなければなりません。ただ、唯一、再創造。この内容をよく見つけ出せる民族が日本だと思えます。どれほど素晴らしいチャンスが来たのでしょうか。ここでレムナントをサミットにさせていかなければなりません。こうして次に何をやるのでしょうか。

3) 実際的にレムナントに3つの企業にならせるように教えるのです。3企業、実際に教えるべきです。こうしてレムナントが世界を生かせるようにしていくのです。必ず覚えていただきたいと思えます。いやしの働きを本格化すべきです。それだけが伝道の道となるからです。レムナントの働き、本格化すべきです。これだけが日本と世界を生かす道です。レムナントに備えられた祝福は、とてつもなく大きなものです。今日から始めてください。

結論

1. 人材スクール

何をでしょうか。人材が集うスクールを作るべきです。人材スクールを作らなければなりません。私は来年度作りたと思っています。まず模範となることを見せなければなりませんから、教会と一箇所作ろうと思っています。人材だけを別途に集めるスクールです。小学生から。私はものすごい働きが起きると思っています。勉強ができない人に勉強を頑張りなさいというのは、神様の御心ではありません。勉強が出来ない子もいて、それでいいのです。みんなが勉強できる、それは神様の御心ではありません。ほんとうに天才の子もいます。勉強ができなくても成功者は出てきます。とにかく私たちがやるのは、人材を集めて正しい福音を教えることです。いまからやることです。

2. 祈りスクール

祈りのスクールを作ってください。皆さんがレムナントを捕まえてやっていくことです。

3. サミットスクール

そして、サミットスクールをやるべきです。つまり、この3つを一つの中で全部やるということです。言葉では分けましたが、一つのスクールで3つ全部が入ります。それでいてタラントを正しく見つけられるようにすることです。それらを指して、成人式と言います。レムナントたちに専門性を磨けるようにしてあげることです。それを私たちは使命式と言います。世の中に出ていく前にすでに答えを持ったまま出ていけるようにすることです。それらを派遣式と言います。日本では賢い方々がたくさんいらっしゃいますから、よく見ていただきたいと思えます。これからやってみてください。日本全地域に次世代を生かす運動をしていくべきです。これだけが道となります。これをパウロが知っていたということです。だから、レムナントを育てました。時が流れてローマを変えていくことになったのです。神様はイスラエルの国をすべて散らしました。どうしてなのでしょう。散らされてこそ世界中に入っていけるからです。その中に残りの者がいました。その中に散らされた者がいました。その中にレムナントがいました。こうして世界を変えていったのです。どのような答えが来るのだろうかとは考えなくてよいです。契約を正しく握っていれば、それ自体が答えです。何事も心配する必要はありません。この答えが今日から始まって、世界中に皆さんによって発信されていくと思えます。

(祈り)

神様。私たちの霊とたましいのところに刻印されますように。天の御座の祝福を味わうことができますように。そこでいま大至急、急務な日本の次世代を生かすことができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。